

春日井市観光・にぎわい創出基本計画策定方針

(観光・にぎわい創出基本計画の目的)

春日井市における観光産業の総合的な振興に向けた論点整理、今後の方向性、具体的方策とステークホルダーごとの役割を明確化し、行動するための拠り所として「観光・にぎわい創出基本計画」を策定し、関係者・市民と共有を図る。

1 春日井市の現状認識

《SWOT分析》

強み (Strength)	弱み (Weakness)
<ul style="list-style-type: none">● 歴史に裏打ちされた「サボテンのまち」という全国でも特異なコンテンツ● 「書のまち」「剣道のまち」という外国人旅行者にとって魅力的なテーマ● 近郊観光や着地型観光への来訪者の一大供給元である名古屋市に隣接した立地● 空港や高速道路、鉄道といった各種交通アクセスの良さ	<ul style="list-style-type: none">● 城のようなランドマークがない● 地場産業等のキラコンコンテンツがない● 担い手がいない
機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)
<ul style="list-style-type: none">● “物見遊山”的団体見物観光から体験型個人旅行に観光志向が変化● ジブリパーク開業やリニア新幹線開通等が予定されている	<ul style="list-style-type: none">● コロナ感染症禍での移動自粛● 近隣市町村が観光施策で先行している

2 観光振興／賑わい創出に係る課題

- 魅力的な観光商品の造成とその発信方法
- 着地型観光の担い手の育成
- 公的施設利用の障壁
- 市内移動手段の確保
- 多くの商店街が弱体化し交流人口が消費する場の集積が弱い

3 観光振興／賑わい創出に係るテーマ

- “春日井市で出会う『非日常』体験”

特徴的なコンテンツについては、市として育成に注力すべき重点観光資源として総合的な支援を行い、市民への浸透を図るとともに市内外における認知度向上を進める。その上で、市内の様々なコンテンツを活用した事業を観光メニュー化し、「春日井に来れば何か変わった体験ができる」、「春日井ではいつも面白いことが起きている」「春日井は自然の入口」といった“非日常”が手軽に体験できる状況を創出すべく、市民を巻き込んだ関係者による受入れ態勢を整備し、大都市からの近郊観光やインバウンド観光の立ち寄りコースとしての地位を確立する。

- “オール春日井”による観光・賑わい創出の推進

市・観光コンベンション協会のみならず、商工会議所・企業・市民・関係機関等が一体となり、「まちを誇り、まちを楽しみ、来訪者をもてなす」意識（シビック・プライド）を醸成し、市民等を巻き込んだ受け入れ態勢を整備する。

4 具体的な個別テーマ(例)

- 例1 心と身体を癒す「春日井サボテン」
- 例2 日本の「書」と「剣道」に触れる旅
- 例3 “自然の入口”をテーマとした「東部丘陵」活用
- 例4 スポーツツーリズム
- 例5 産業観光
- 例6 味美古墳群とハニワ作り体験
- 例7 落合公園～朝宮公園陸上競技場のふれあい緑道を活用した健康づくり
- 例8 下街道まち歩き

- 個別テーマに加え交流人口受け入れのための体制整備、方策を検討

5 将来展望

- 基本計画の策定に合わせ（または策定後に）、地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業計画の策定を行い、国の承認を目指す。同計画の承認を受けることで、同法に基づいて市内の観光関連事業者への個別支援が受けられることとなる。
- 基本計画において、観光コンベンション協会の機能強化とともに、地域DMO（観光地域づくり法人）への登録に向けた将来展望についても検討する。